



2018年5月9日

各 位

上場会社名 株式会社朝日ラバー
 代表者名 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
 (コード番号 5162)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 田崎 益次
 (TEL 048-650-6051)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2017年11月8日に公表した業績予想及び2017年5月11日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2018年3月期通期連結業績予想数値の修正(2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,321	539	533	372	82.56
今回修正予想 (B)	7,534	561	589	459	101.98
増減額 (B - A)	213	22	56	87	
増減率 (%)	2.9	4.1	10.6	23.5	
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	6,511	475	490	341	76.09

2018年3月期通期個別業績予想数値の修正(2017年4月1日～2018年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,835	383	386	256	56.82
今回修正予想 (B)	7,033	413	445	354	78.68
増減額 (B - A)	198	30	59	98	
増減率 (%)	2.9	7.8	15.4	38.5	
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	6,086	341	374	266	59.41

修正の理由

通期の連結および個別の売上高については、2017年11月8日時点の予測に比べて、工業用ゴム事業における自動車関連製品のASA COLOR LEDの受注が海外向けを中心に引き続き好調に推移したこと等により増加する見込みです。また、利益指標につきましても、売上高増と生産性の向上の取り組み、補助金収入の計上及び各種減税による税金費用減少等により、前回予想より増加する見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想	—	6.00	—	10.00	16.00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	14.00	20.00
当 期 実 績	—	6.00	—		
前 期 実 績 (2017年3月期)	—	3.00	—	13.00	16.00

修正の理由

当社の配当方針につきましては、経営基本方針のもと、株主資本の充実と長期的な収益力の維持・向上、業績に裏付けられた安定的な配当の継続を原則としております。

このような方針のもと、2018年3月期の期末配当金は1株当たり10円の配当を予定しておりましたが、当期の業績及び今後の見通し等を総合的に勘案した結果、1株当たり14円に修正することといたしました。

この結果、2018年3月期の年間配当金は1株当たり20円となる予定であります。

なお、本件につきましては、本年6月開催予定の第48回定時株主総会に付議する予定であります。

※本予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。